

【平成 30 年度 自己評価結果報告書】

2019 年 3 月作成
飯倉幼稚園

1. 本園の概況

1 組織の目的

1) 学園の経営理念（ポリシー）

時代の流れを的確につかみ、未来を担う子どもたちの健全な育成を目指し、満足できるサービスを提供することにより、地域社会に貢献してまいります

2) 学園の経営目標（ビジョン）

地域に欠かすことのできない 100 年続く学園の想設

3) 学園の経営方針（ミッション）

1. 「子ども」第一主義で行動する
2. 「教育」を通じて子どもの成長を促す
3. 「保護者」のニーズを的確に受け留める
4. 「人的・物的環境」の整備徹底を行う

2 組織の目的

1) 幼稚園の教育理念（教育目的）

音楽を通じて情操教育とたくましい体力づくりで調和のとれた教育をめざします

2) 幼稚園の教育目標（基本方針）

自ら律し、自ら考え、他人を思いやることができる
真の「生きる力」をもった人物を育成すること

3) 幼稚園の教育方針（教育内容）

1. 「体育」で健康な身体を育む
2. 「音楽」で豊かな感性を育む
3. 「ティーム保育」で道德性の高い心を育む

今後重点的に取り組む目標、計画

幼稚園の教育課程の内容を確認し、教職員の共通理解をはかり、教育の質を高めるとともに、保護者のニーズを確認することで、本園としての中、長期のビジョンを明確化し、幼稚園が今後担う役割について検討する。

2. 昨年度の課題についての取り組み

課題 1	具体的な取り組み方法
指導計画について	専任講師による音楽教室を実施。各学年、週 1 回 30 分～40 分の保育を行う。専任講師は音楽講師の助言のもと、自園オリジナルのカリキュラム（資料 1）を作成し、各学年にあった保育を展開させていくことができた。
実際の取り組み	各学年にあったカリキュラムに沿って、基本の音遊びや、リトミック、鍵盤ハーモニカ指導から、年度末に開催される音楽発表会の演奏指導まで専任講師による指導ができたことで、子どもたちも決まった時間の音楽教室の中で楽しみながら、保育を受けることができた。 また、職員にとっても専任の講師と保育にあたるこ

	とで、ひとりひとりにあった援助をしながら保育を行うことができた。
--	----------------------------------

課題 2	具体的な取り組み方法
教師の資質 指導向上に向けて	園内研修年間計画を作成。(資料 2) 今年度は各 PJ チームが主体となって 1 時間の研修時間を進めていく。
実際の取り組み	各 PJ 担当で、職員同士で話し合いたいこと、みんなで共有したい内容などを考え、研修を進めていった。全職員が研修を担当することで、内容を考え、伝わりやすいように工夫を凝らし、研修を進めることで、資質向上につながった。また、実際に抱えている課題に沿った内容で研修することができ、職員の問題意識も高まり、PJ の活動もより、深まりを増した。(資料 3)

3 評価項目および取り組み状況

評価分類		取り組み状況
保育の計画性	園の教育理念・教育方針の理解	○園の教育理念や教育方針を常に理解し、教職員で話し合い園の目指す幼児の姿を具体的にイメージしながら日々の保育にあたっている。
	指導計画の作成	○園の方針を指導計画や保育に生かし、教育要領や幼児の実態等を元に考えて作成している。 ○長期の指導計画は毎年見直しを行い、また短期の指導計画は幼児の実態に常に対応できるような順応性のあるものにしていく。 ○総合的な活動ができるように考慮して作成している。
	環境構成	○ 指導計画に基づいて幼児が主体的に関わりたくなるようにまた安全面に考慮して環境構成をしている。 ○ 楽しい雰囲気の中で安定して遊びこめる、時間や環境の構成に努めている。 ○ 季節の変化や、幼児の発想を柔軟に取り入れて、保育室の装飾や展示を考えている。

	保育と計画の評価と反省	<ul style="list-style-type: none"> ○ 自分の保育の評価と反省を日々、保育日誌として記載し、月ごとに職員で、反省・評価を行っている。 ○ 評価・反省は次の保育を見直す材料となるよう反省ノートとしてすぐ開示できる。
保育の在り方 幼児への対応	健康と安全への配慮	<ul style="list-style-type: none"> ○ 幼児の体調には常に気を配り体調が悪そうな幼児には安静や検温など適切な処置を行い家庭に連絡を入れるようにしている。 ○ けがや事故には特に気を配り、危険が予測される場合は、幼児たちと一緒に見たり考えたりして気づかせるように配慮している。 ○ 園内に危険な箇所がないか、遊具は安全か毎週点検を行っている。
	幼児のみとりと理解	<ul style="list-style-type: none"> ○ 一人ひとりの幼児をよく理解する為には、観察、予測、推察が大切であることを理解し自分の一方的な感じ方や考え方で決め付けないよう心がけている。
	指導とかかわり	<ul style="list-style-type: none"> ○ 幼児にあわせて同じように動いたり同じ目線にたつてものを見つめたりするように心がけている。 ○ 遊びの援助者であることを理解し幼児にヒントやアイデアをすぐに提供できるようにしている。 ○ 幼児のことについて常に保育者同士で話し合い、クラス、学年を超えて情報を共有している。 ○ 異年齢児とのかかわりがもてるように、ティーム保育（たてわり保育）を取り入れている。
教師としての 資質や能力・ 良識・適性	専門家としての 能力・良識・義務	<ul style="list-style-type: none"> ○ 幼稚園教諭としての専門知識や技能を常に身に付けていけるよう年間を通しての研修や講習会に参加している。 ○ 良識ある社会人としての心がけを忘れない。
	組織の一員としての 在り方	<ul style="list-style-type: none"> ○ 教職員全員でひとつのチームであることを意識している。
保護者への対応	情報の発信と受信	<ul style="list-style-type: none"> ○ 連絡帳を利用して、幼児の様子を必ず月に1度は知らせている。また日々の様子について特記すべきことは必ずその日に連絡をとるようにしてい

		<p>る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ ホームページの充実が本園の誇れるところであり保護者からも喜ばれている。 ○ 保護者からクレームがあった場合は、まず謙虚にその話を聞き、内容によっては、職員全体で検討し、共通理解の上で対処している。
研修と研究		<ul style="list-style-type: none"> ○ 年間を通じての研修、および園児夏休み中に集中研修をうけている。 ○ 園内研修を設け研修内容を教職員で共有し保育に生かせる工夫をしている。 ○ 研修後は報告書の作成を徹底している。 ○ ティーム保育として教師が他のクラスに入り、クラス担任の保育を見学して、保育の意見交換をし職員全員で全園児を共通理解できるように、園児の個性を共有する時間を取っている。

4. 今後取り組むべき課題

課題	具体的な取り組み方法
指導計画について	<ul style="list-style-type: none"> ○ 同学園に姉妹園の「飯原保育園」が設立され、2年目を迎える。今年度は、園児同士の交流保育を取り入れ、たくさんの友達と関わる機会や、保育園の施設へ出向き、自分が通っている園とは違う環境の中で過ごす楽しみを感じることができるような保育を展開させていく。 ○ 昨年度は大学との共同研究として食育を行ってきたが、今年度より、年少、年中、年長を対象に「食育」を取り入れる。
教師の資質指向上にむけて	<p>今年度同様園内研修を行っていく。</p> <p>幼稚園教育要領改訂に伴い「幼児期までに育てほしい10の姿」として出された具体的な幼児の姿や、保育者の指導のポイントを主として職員間で、話し合い、考え、共通理解を深める研修を行っていく。また、園外での研修も充実させ、園内外を問わず、教師の資質向上に努めていく。</p>

5. 幼稚園関係者評価委員会よりの所見

特に指摘すべき事項は無く、妥当であると認められている

6. 財務管理

公認会計士監査により、適正に運営されていると認められている。

資料 1 音楽教室カリキュラム (年間・月)

2019年度年間音楽カリキュラム												
年少			年中				年長					
楽器	練習曲	鑑聴教育	楽器	練習曲	ハーモニカ+うた	鑑聴教育	楽器	練習曲	ハーモニカ+うた	鑑聴教育		
4 年級	楽器の姿 楽器の演奏 楽器の演奏 楽器の演奏	楽器の演奏 楽器の演奏 楽器の演奏	楽器の演奏 楽器の演奏	楽器の演奏 楽器の演奏	楽器の演奏 楽器の演奏	楽器の演奏 楽器の演奏	楽器の演奏 楽器の演奏	楽器の演奏 楽器の演奏	楽器の演奏 楽器の演奏	楽器の演奏 楽器の演奏	楽器の演奏 楽器の演奏	
年少 楽器の演奏を体験する 年少 楽器の演奏を体験する 年少 楽器の演奏を体験する			藤本先生の音楽教室 年少組・年中組 4月20日(月) 10時～14時				園児指導時間は10時～14時 職員指導時間15時～					
5 年級	楽器の演奏 楽器の演奏	楽器の演奏 楽器の演奏	楽器の演奏 楽器の演奏	楽器の演奏 楽器の演奏	楽器の演奏 楽器の演奏	楽器の演奏 楽器の演奏	楽器の演奏 楽器の演奏	楽器の演奏 楽器の演奏	楽器の演奏 楽器の演奏	楽器の演奏 楽器の演奏	楽器の演奏 楽器の演奏	
年少 楽器の演奏を体験する 年少 楽器の演奏を体験する 年少 楽器の演奏を体験する			藤本先生の音楽教室 5月20日(月)年中・年少 4月20日(月) 10時～12時参観 午後年少指導				園児指導時間は10時～14時 職員指導時間15時～ 年長組演奏リレー楽曲相談					
6 年級	楽器の演奏 楽器の演奏	楽器の演奏 楽器の演奏	楽器の演奏 楽器の演奏	楽器の演奏 楽器の演奏	楽器の演奏 楽器の演奏	楽器の演奏 楽器の演奏	楽器の演奏 楽器の演奏	楽器の演奏 楽器の演奏	楽器の演奏 楽器の演奏	楽器の演奏 楽器の演奏	楽器の演奏 楽器の演奏	
年少 楽器の演奏を体験する 年少 楽器の演奏を体験する 年少 楽器の演奏を体験する			藤本先生の音楽教室 6月8日(木)年少 時間10時～12時参観 午後 年中・年長指導				園児指導時間は10時～14時 職員指導時間15時～ 発表会 楽曲相談					
7 年級	楽器の演奏 楽器の演奏	楽器の演奏 楽器の演奏	楽器の演奏 楽器の演奏	楽器の演奏 楽器の演奏	楽器の演奏 楽器の演奏	楽器の演奏 楽器の演奏	楽器の演奏 楽器の演奏	楽器の演奏 楽器の演奏	楽器の演奏 楽器の演奏	楽器の演奏 楽器の演奏	楽器の演奏 楽器の演奏	
年少 楽器の演奏を体験する 年少 楽器の演奏を体験する 年少 楽器の演奏を体験する												

飯倉幼稚園 年少組 2019年度 4月音楽教室指導案計画表 講師 村上 友弥子 印			
日付	目標	内容	
リトミック	合図を聞いて決められた動作をしよう	先生のまねっこあそびをしよう	
打楽器あそび	カスタネット、鈴、タンバリンをつかって	手をたたきましよう	
	楽しく音を出そう	むすんでひらいて	
今月の歌	生活のうた ・ 先生とおともだち ・ こいのぼり		
★指導のポイント			
1 カスタネットは左手の中指におし赤い面を手のひらにのせる。右手は小鳥の口ばしのように指をすばめる。			
2 用意の合図で左手指で準備する。たたくときは、おさえずに響やかに弾ませる。			
3 鈴は、左手で持ち腕を前に伸ばす。右手をグーにして、左手の親指の付け根付近をたたいて音を出す			
4 ふるときは、高く上げて音を出す。			
5 タンバリンは、左手で持つ。親指を穴の中に入れてない、白い面に添える。用意の合図で腕を前にのめます。			
6 右手は丸くやわらかい形にして、カスタネット同様押さえつけて、弾ませる。			
★準備物			
11 カスタネット 35			
12 鈴 35			
13 タンバリン 35			

資料 2 園内研修

平成 30 年度 園内研修計画

時間 3 時 20 分～4 時 30 分

- ・職員間で意見や考えを多く語り合う
- ・プロジェクトチームをリーダーとして、検討したいこと、活動したいことをテーマに研修を行う

月	担当	内容
6 月 13 日	教材研究 PJ	選択遊び教材を研究・作成しよう
7 月 11 日	ありがとう育てよう PJ	実習生について考えよう
8 月 27,28 日	夏の園内研修会	
9 月	改善提案 PJ	仕事効率？仕事内容？を考えよう
10 月	MKFPJ	読書の秋！絵本の重要性について考えよう
11 月	5 SUPJ	困ったときの緊急対応&ディスカッション
12 月	食育 PJ	今年度のバケツ稲の取り組みについて
1 月	まとめ	

資料 3 計画書・反省記録

第 19 回 園内研修 平成 30 年 6 月 18 日
参加者：園本・久保・藤原・矢幡・津上・谷崎・有田 + 教材研究（平川・市原・重慶）

教材研究 PJ について

「教材」、「遊具」、「バス教材」を主な内容として、子ども達がより良い環境で園生活を過ごす事が出来るように、環境を整えている。子ども達が楽しめる保育の為に、工夫、測定、準備、確認をしながら、活動を行っていく。

普段子ども達が使っている教材について職員間で見つめ直したり、新たな教材について意見を出し合ったり、実践したりすることで、より良い保育を行っていく事が出来る。

研修理由

- ・手遊びやゲームのレパートリーが固定されたものになりつつある為、新しいものを共有できれば、遊びの幅が広がる為。
- ・子ども達が使っている教材では、どのような力が育つのが知っておくことで、その教材についての見方も変わる為。
- ・バス教材の新しい案を出し合う事で、子ども達がより良いものを使うことが出来る為。

準備するもの

研修会資料、集団遊び用カード、バス教材例（びんびんごまの材料用：厚紙、きり、風糸→時間の関係上省きました）。

研修内容

- ◎ 今月の遊び・誕生会のレパートリーについて。
「まほうのて」 「一匹のカエル」 「あめで遊ぶたねがさん」。
- ◎ 「カードゲーム」 「進化（進化）じゃんけん」。
- ◎ 教材研究とは？ 講義&ディスカッション。
- ◎ バス教材について 例の提示&ディスカッション。

コーディネーター感想

今年度初めての園内研修でした。PJ が行う研修として二番最初ということで、その内容を組み立てる上で、どのように展開していくかという所から PJ チームで話し合いました。一方的にこちらから話を提供するのではなく、先生方と手遊びやゲームを行ったり、教材について見つめ、意見を出し合ったりする事で、今までよりも、教材についての考え方が深まったと思います。教材研究 PJ 自身にとっても、貴重な時間となりました。頂いた意見をもとに、教材の種類も増やしていきたいです。

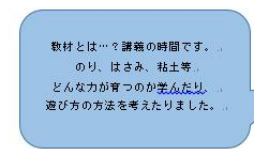


手遊びをレクチャー中...
6 月向けの手遊びです...
指の数が増えていきます！

カードゲームで、
沢山の金べ物をゲットし、
同じ金べ物を揃えたり、
数を競ったり...遊び方は様々！



進化（進化）じゃんけん中...
おばあちゃんになっています...
とても楽しそうでした！



教材とは...？講義の時間です...
のり、はさみ、粘土等...
どんな力が育つのが楽しみ...
遊び方の方法を考えたりしました...



バス教材の案についても、
共有しました...
紐やボタンを使った
アイディアがでてきました！

研修中写真

